

## 校異源氏物語・せきや

いよのすけといひしは故院かくれさせ給て又のとしひたちになりてくたりしか  
はかのはゝき木もいさなはれにけりすまの御たひるもはるかにきゝて人しれす  
おもひやりきこえぬにしもあらさりしかとつたへきこゆへきよすかたになくて  
つくはねの山をふきこす風もうきたる心ちしていさゝかかのつたへたになくて  
とし月かさなりにけりかきれる事もなかりし御たひるなれと京にかへりすみ給  
て又のとしの秋そひたちはのほりけるせき入日しもこの殿いし山に御くわむは  
たしにまうて給ひけり京よりかのきのかみなといひしこともむかへにきたる人  
くこの殿かくまうて給ふへしとつけゝれはみちのほどさはかしかりなむもの  
そとてまたあか月よりいそきけるを女車おほくところせうゆるきくるにひたけ  
ぬうちいてのはまくるほとにとのはあわた山こえ給ひぬとて御せむの人くみ  
ちもさりあへすきこみぬれはせき山にみなおりてこゝかしこのすきのしたに  
車ともかきおろしこかくれにゐかしこまりてすくしたてまつる車なかたへは  
をくらかしさにたてなとしたれとなをいひろくみゆるまとはかりそ袖  
くちものゝいろあひなともりいてゝみえたるゐ中ひすよしありてさい宮の御  
くたりなにそやうのおりものみ車おほしいてらる殿もかく世にさかへいて給  
ふめつらしさにかすもなきこせむともみなめとゝめたり九月つこもりなれはも  
みちの色くこきませしもかれの草むらむらおかしうみえわたるにせきやより  
さとくつれいてたるたひすかたどもの色くのあをのつきくしきぬいものく  
りそめのさまもさるかたにおかしうみゆ御車はすたれおろし給ひてかのむか  
しのこきみいま右衛門のすけなるをめしよせてけふの御せきむかへはえおもひ  
すて給はしなどの給ふ御心のうちいとあはれにおほしいつることおほかれとお  
ほそうにてかひなし女も人しれすむかしのことわすれねはとりかへしてものあ  
はれなり

ゆくくとくとせきとめかたき涙をやたえぬし水と人はみるらむえしり給はし  
かしと思ふにいかひなしし山よりいて給ふ御むかへに右衛門のすけまいり  
てそまかりすきしかしこまりなと申すむかしわらはにいてむつまじうらうた  
きものにし給ひしかはかうふりなとえしまてこの御とくにかくれたりしをおほ

えぬよのさはきありしころものゝきこえにはゝかりてひたちにくたりしをそす  
こし心をきてとしころはおほしけれと色にもいたし給はすむかしのやうにこそ  
あらねとなをしたしきいへ人のうちにはかそへたまひけりきのかみといひしも  
いまはかうちのかみにそなりにけるそのをとうとの右近のそうとけて御ともに  
くたりしをそとりわきてなしいて給ひければそれにそれもおもひしりてなど  
てすこしもよにしたかふ心をつかひけんなどおもひいてけるすけめしよせて御  
せうそこありいまはおほしわすれぬへきを心なくもおはするかなと思ひ  
ぬたりつるはちきりしられしをさはおほしゝりけむや

わくらはにゆきあふ道をたのみしも猶かひなしやしほならぬうみせきもり  
のさもうらやましくめさましかりしかないとしころのとたえもうひゝし  
くなりけれと心にはいつとなくたゝいまのこゝちするならひになむすきゝし  
ういとゝにくまれむやとて給へればかたしけなくてもいきて猶きこえ給へ  
むかしにはすこしおほしのくことあらむと思給ふるにおなしやうなる御心のな  
つかしさなむいとゝありかたきすさひことそようなきことゝ思へとえこそすく  
よかにきこえかへさね女にてはまけきこえ給へらむにつみゆるされぬへしなど  
いふいまはましていとはつかしうよろつのことうひゝしき心ちすれとめつら  
しきにやえしのはれさりけむ

あふさかの関やいかなるせきなれはしけきなけきの中をわくらん夢のやう  
になむときこえたりあはれもつらさもわすれぬふしとおほしをかれたる人なれ  
はおりゝは猶のたまひうこかしけりかゝるほどにこのひたちのかみおいのつ  
もりにやなやましくのみしても心ほそかりければこともにたゝこの君の御こ  
とをのみいひをきてよろつの事たゝこの御心にのみまかせてありつる世にかは  
らてつかうまつれとのみあけくれいひけり女君心うきすくせありてこの人にさ  
へをくれていかなるさまにはふれまどふへきにかあらんと思ひなけき給ふをみ  
るにいのちのかきりあるものなれはおしみとゝむへきかたもなしいかてかこの  
人の御ためにのこしをくたましひもかなわかことものこゝろもしらぬをどうし  
ろめたうかなしきことにいひ思へと心にえとゝめぬものにてうせぬしはしこそ  
さのたまひしものをなとなさけつくれとうはへこそあれつらきことおほかりと  
あるもかゝるもよのことほりなれはみひとつのうきことにてなけきあかしくら  
すたゝこのかはちのかみのみそむかしよりすき心ありてすこしなさけかりける  
あはれにのたまひをきしかすならすともおほしうとまてのたまはせよなとつい  
そうしよりていとあさましき心のみえければうきすくせある身にてかくいきと

まりてはてくはめつらしきこともをきゝそふるかなと人しれす思ひしりて  
人にさなむともしらせてあまになりにつりある人くいふかひなしとおもひな  
けくかみもいとつらうをのれをいとひ給ふほとにのこりの御よはひはおほくも  
のし給らむいかてかすくし給ふへきなとそあいなのさかしらやなとそはへるめ  
る